

定量 PCR 利用手引き

(ver. 1, Oct. 2011)

仕様

Applied Biosystems 7900HT Fast

ブロック：96 well および 384 well（ブロックを交換することでいずれも使用可）

解析ソフトウェア：SDS 2.4

<http://www.appliedbiosystems.jp/website/jp/home/index.jsp> より、

「製品情報」→「リアルタイム定量 PCR」→「Applied Biosystems 7900HT Fast リアルタイム PCR システム」をご参照ください。

利用の流れ

- ① 事前打ち合わせ
- ② 申請書の提出、審査
- ③ 採択の連絡、日程調整

利用する上での注意点

- ・ 基本的に機器利用のみを想定しています。必要となる試薬、消耗品類は基本的に利用者側でご準備ください。
- ・ 学外利用者等で、リアルタイム PCR 反応液の調製等のため、実験ベンチ等の一時的な利用あるいはプレート等消耗品の使用を希望する場合は、別途ご相談ください。
- ・ リアルタイム PCR 解析に関する技術的支援等を希望する場合は、別途ご相談ください。
- ・ 使用できる蛍光物質は、Applied Biosystems の 7900HT 用キャリブレーションキットに含まれているもの (FAM、JOE、NED、ROX、SYBR GreenI、TAMRA、TET、VIC) となります。

費用負担

利用状況に応じ課金します。必要となる試薬、消耗品類は基本的に利用者側でご準備ください。利用者の旅費・宿泊費等（学内宿泊施設あり）は原則として利用者をご負担ください。

Authorship

成果発表の際には、事前にご相談ください。また、Acknowledgements 等に以下の内容を記載されるようお願い致します。

(例) This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.

支援開始時期

平成 23 年 10 月下旬より支援開始の予定です。

連絡先

ta1oguchi@gene.tsukuba.ac.jp

小口 太一 (筑波大学 遺伝子実験センター 助教)